Panasonic

施工説明書

ブースタ 1回路タイプ

白熱灯用　　品番：NQL10001

本器の取付けには電気工事士の資格が必要です。かならず専門業者のかたが施工を行ってください。
同梱の取扱説明書はお客さまへの使用方法等の説明となっております。
必ずお客さまに取扱いの説明を行っていただき、本書とともにお渡しの上、保管をお願いしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警 告

●改造しないでください。
異常発熱や火災の原因になります。

●スイッチボックスを使用し必ず壁面に正しい方向で取付けてご使用ください。
動作時には高温となるため、異なった方向に取付けたり、
屋根裏に設置すると、火災の原因となり危険です。

●必ずブースタの上下に200mm以上の通風スペース を設けてください。
ブースタの上下には冷却用の通風口を設けています。
通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となります。
分電盤などのすぐ上（下）に設置したり、ブースタ 2台を上下に設置することはできません。

●必ず指定電線を使用し、電線穴に完全に奥まで差し込んでください。
指定電線でないものを使用したり、不十分な結線をすると
機器の異常発熱・火災の原因となり危険です。

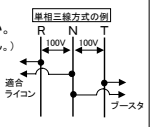
●出力線、電源線を短絡しないでください。
電線を故意に短絡してブレーカのトリップテストを行う場合は、ブースタを取付ける前に行ってください。
一瞬の短絡でブースタおよびライコンは破壊します。
漏電ブレーカの押しボタンで行うトリップテストで破壊することはありません。

●種類と品番を確認の上、必ず本紙3ページの「品種と仕様・定格」表を参照し、
適合する器具と組合せてご使用ください。
誤った器具に接続すると、本機や器具を損傷したり、発熱発火の原因となり危険です。
また、コンセント回路をブースタに接続すると火災の原因となり、たいへん危険です。

●必ず適合負荷を最大負荷容量以下でご使用ください。(3ページ参照)
異常発熱や火災の原因になります。

施工上のご注意

●単相電源専用です。三相電源では使用できません。
また、適合ライコンとブースタは必ず同相電源としてください。
（同一電源の R-N、T-N から それぞれの電源をとっても 構いません。）



●ライコンの電源波形ひずみによる
ちらつきを避けるために
電源が単相三線式の場合で、消費電力が1kW以上の機器が
ある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。

●適合ライコン専用です。（取扱説明書 表紙をご覧ください）
一般の調光スイッチは本器ブースタと組み合わせて使用できません。
また調光装置（調光盤）用の操作器も使用できませんのでご注意ください。

●適合ライコンの1回路あたりに接続できるブースタは1台だけです。
複数回路を接続すると、適合ライコンやブースタの故障の原因となります。

●適合ライコンには別途電源が必要です。
適合ライコンの施工説明書も合わせてお読みください。

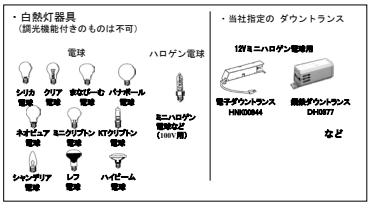
●ブースタの種類と品番を確認ください。
ブースタの種類と品番を確認の上、裏面の「結線方法」に従って、
端子を間違えないよう配線してください。

品種と仕様・定格

品 番	NQL10001
種 類	白熱灯用
定 格	AC100V（50/60Hz共用） 60～1500VA　（※1）
適合負荷	白熱灯照明器具 当社指定の調光用ダウントランス およびダウントランス専用灯具 （調光機能付きのものは不可）（※2）
適合 スイッチボックス	3個用金属製スイッチボックス（カバー付）
使用温度	0℃～35℃（結露なきこと）
消費電力	10W以下 （本器を接続した場合、ライコン自身の1回路あたりの消費電力も10W以下です。）

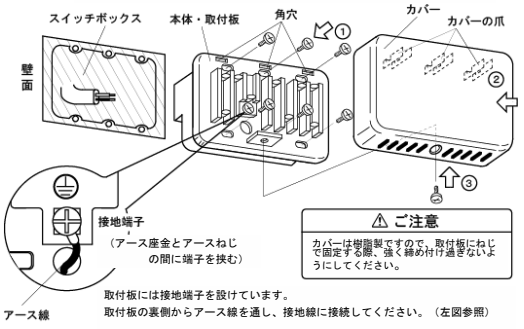
（※1）NQL10001白熱灯用で、インバータ照明器具をON/OFFする場合は
合計電流を7A以下で使用ください。

（※2）適合負荷は以下になります。



取付方法

① 本体の取付け板をネジでスイッチボックスに6箇所固定する。
② 本体にカバーをかぶせる。（取付板の角穴にカバーの爪を引っかける）
③ カバーの下側からネジで取付板に1箇所固定する。（下図参照）

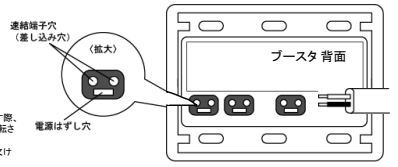


⚠ ご注意
カバーは樹脂製ですので、取付板にねじで固定する際、強く締め付け過ぎないようにしてください。

取付板には接地端子を設けています。
取付板の裏側からアース線を通し、接地線に接続してください。（左図参照）

端子への接続の仕方

・電線はΦ1.6またはΦ2.0銅単線を使用し、速結端子穴に奥まで差し込んでください。
・電線被覆のむきしろは背面ラベルにあるストリップゲージを利用して合わせてください。
・電線をはずす場合は、はずし穴にマイナスのドライバー中または小をまっすぐに差し込み、
電線を引き抜いてください。
・電線をはずす際、ドライバーを強くこじたり回転させたりしないでください。



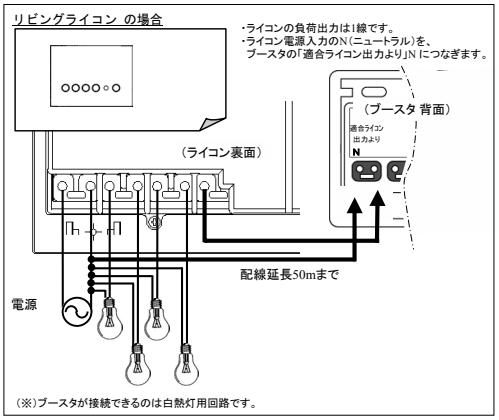
速結端子から電線をはずす際、
ドライバーを強くこじたり回転さ
せたりしないでください。
端子の成型品（ボディ）が欠け
損傷を受けます。

NQL10001－11

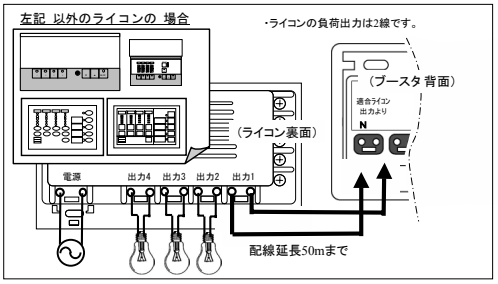
適合ライコンとの接続

ブースタ背面のいちばん左にある「適合ライコン出力より」端子には、
適合ライコン裏面の各「出力」端子からの配線を接続してください。

※適合ライコンの複数回路に、ブースタを接続することもできます。

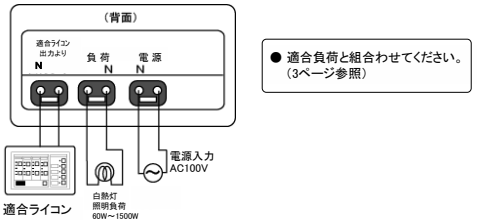


適合ライコンとの接続



結線方法

白熱灯器具用
NQL10001



● 適合負荷と組合わせてください。
（3ページ参照）

・端子はすべてΦ1.6またはΦ2.0の銅単線専用です。

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365(フリーダイヤル) 0120-878-236(FAX)
この説明書は 2012年01月1日 に作成されたものです。